



祝 甲種合格

先頃実施された火薬類取扱保安責任者試験において、当社の小井田さんが甲種試験を受験し見事に合格しました。

火薬類取扱保安責任者資格は、採石業にとっては欠くことのできない資格の一つで合格率30%程度と難易度の高い資格です。初回の受験での合格は日々の努力の賜といえるでしょう。おめでとうございます。

物流再考



10月に入り、ダンプの不足が顕在化し始めた。注文に応じられず翌日にしていただいたり、台数を減らしていただいたりと配車のやりくりが続いている。それにしても、どこを見回してもダンプがない。スイッチを入れれば明かりがつく。蛇口をひねると水が出る。同様に、物流も希望する日に、希望する物を、希望する数運んでもらえることが当たり前と想っていた。それがままならない事態となって初めてありがたみを知る。広域的、長期的に考えると震災復興、国土強靱化、岩手国体、東京オリンピック等ダンプ不足が、長期的、慢性的になる可能性もある。関東では運転手の高齢化や車両の老朽化により、退職金がわりに車両を売却して廃業するケースも出ていると聞く。人や物に適正に投資できる環境が地域の物流を支えていくのだと思う。

社員増員

10月から福田運送に新入社員が加わりました。向久保愉人さん26歳です。ダンプの運転経験はありませんが、やさしい先輩達からあたたかい指導を受けてプラントに現場にと走り回っています。まだ、製品の種類と場所がわからなかったり、現場の雰囲気にも慣れないようですが、一生懸命頑張っています。応援してあげてください。



また、田口吉成さん、柴田和良さんノ二人が運送へ、西山弘さんが砕石に入社しています。(紹介遅れました)人が増えると会社にも活気が出てきます。元気出していこう!

山ガール???

ある晴れた土曜日の朝、見慣れぬ古ぼけたワゴン車が事務所前で停まった。なんかうさくさいやつが来たと思構えていたら、降りてきたのは、土着の二戸人とは思えない女性。話を聞くと東京から来たそう。山の写真を撮らせてほしいとのことで、なんと職業はフォトグラファーである。場内の説明をして、ご自由にどうぞと送り出したら、よほどお気に召したのか戻ってきたのはお昼近くであった。

後日お礼のメールと共に送られてきた写真は、バカチョン写真とは雲泥の差。違う景色に見える。メールの文面には『印象的だったのは現場で働く方達がかっこ良かったことです!』とあり、砕石業ってかっこ良かったんだと悦に入っている。それもこれも山ガール様が来てくれたればこそと感謝感謝。興味のある方は、下記で検索を。



MIZCAMERA ミズカイ ケイコ



～計器の信頼性～

5年に1度の2tローリーの吐出量検定を実施した。1000lの検定容器に1000lあるかどうか計量するだけの事である。Aが正しいかどうかBによって判定するという事は、Bは間違いなく正しくなければならぬ。検定担当者は、『この容器は内部はガラス製で外部はステンレスの2重構造になっていて熱膨張の影響を受けません。ちなみに値段は100万です』と説明してくれた。100万円と聞いたとたん正しく思えてきた。2回やって首尾よく合格。長さや質量はメートル原器やキログラム原器があり、かなり厳密という印象なのだが、容積は比較的甘いのだと感じた。

そういえばコップ酒を注文すると並々と注いだ上に受皿にまであふれさせてくれるのではないかと。そんな余計なことを思い出す。



生涯労働時間

人生80年とすると、生まれてから死ぬまで70万時間である。そのうち20万時間を睡眠時間とすると残りは50万時間。20歳から65歳まで働くとする生涯労働時間は10万時間となる。ということで、おおかたの人間は10万時間を職場で過ごすことになる。二戸文化会館で100名を超す参加者を集めて行われた労務管理講習会でそんなことを考えながら説明を聞いていた。10万時間は起きて覚醒しているうちの20%である。その時間を安全で健康で充実した時間とできるか否かは労働者のみならず、会社にとっても大きな問題である。いろいろな角度から仕事を考える機会となった。



編集後記

今年結成された会社の女子会(笑)で、毎月積立てを始め日光に一泊旅行に行ってきました。台風27号が上陸すると騒がれていたのに見事に晴れ、紅葉を満喫してきました。奥日光の紅葉は色が鮮やかで見事でした。新幹線を乗り継いで4時間弱です。遠いようでわりと近い日光でした。

